

小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会

第2回 太陽光発電事業化検討チーム 会議概要

日時：平成 24 年 1 月 24 日（火）10：00～12：00

場所：小田原市役所 6 階 601 会議室

出席者（五十音順 敬称略）

太陽光発電事業化検討チーム

志澤昌彦、鈴木大介、鈴木伸幸、中矢慎一、原正樹、古川晴基

事務局

環境部管理監、エネルギー政策担当副課長、環境政策係長、環境政策係員 3 名
オブザーバー（一般社団法人 日本再生可能エネルギー協会）

山下紀明

結果概要

< 1 スケジュールについて >

- 平成 24 年 12 月までに事業会社を立ち上げること、25 年度には事業を開始することを目標とする。
- 事業スキームにおいて、なるべく補助金を頼らない方法を検討する。最初から補助金を織り込むと事業リスクが大きい。
- 会社設立は、事業スキームの策定面とファンド面の 2 つに分けて取り組むことができるので、なるべく早い段階からどんどん検討を進めるべき。
- ファンド組成について、他のファンドと組み合わせるのであれば、今から話をするよりも、ある程度事業スキームが具体化してからのほうが効率的である。
- 広い視野を持って資金計画を考え、事業内容を確定すべき。

< 2 市民・企業に対する意向調査の進捗状況について >

- 市民 1,500 名と市内の企業 100 社に対し、太陽光発電設備設置の意向調査を行う。この調査は、調査受託業者から、1/27(金)の発送予定。
- 公共施設への太陽光パネル設置の検討について、小・中学校、幼稚園、保育園の屋上を調査しているが、学校の体育館やその他の公共施設への設置の可能性を探るべき。これについては、市の施設からいくつか候補を選定し、検討チームで分かれて調査する予定。

< 3 ESCO 事業の検討 >

- 事業スキームを策定する上で、ESCO 事業による資金調達を検討。市内の公共施設を対象とした ESCO 事業を導入してはどうか。ESCO 事業は、原正樹氏を中心に検討する。

＜ 4 地域グリーンニューディール基金について ＞

- 環境省は、24年度予算案において、「再生可能エネルギー等導入促進基金事業（グリーンニューディール基金）」を計上しており、こうした基金の活用も検討しておくべき。

＜ 5 第2回市民意見交換会について ＞

- 平成23年度内に第2回市民意見交換会を開催する。
- 内容は、市民出資やファンドに詳しい専門家の講演及び、協議会のこれまでの活動報告を行う。時期は3月上旬を予定。

＜ 6 飯田市への行政視察について ＞

- 2/8(水)で調整しているが、参加できない委員もいるので、再度日程調整中。

＜ 7 その他 ＞

- 3月中旬に、年度内の成果の報告と次年度の活動方針の議論のため、「第2回小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会」を開催予定。
- 第3回、第4回の太陽光発電事業化検討チームを2月中に開催する。講師による勉強会と、公共施設等への調査結果を受け、太陽光パネルの設置の可能性の検討を行う。